

東日本大震災関連

報道関係各位

2011年4月26日

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」 廃航になった広島のカフェリー、気仙沼で明日就航 「大島」の生命線を回復し、生活復旧を加速

CIVIC FORCE が仲介・費用負担して実現
第一便は4月27日(水) 6:40 大島発
7:10 頃、気仙沼エースポートに到着予定
震災前クラスのカフェリー復活で、大型物流が回復

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)(本部: 東京都港区、代表理事: 大西 健丞)」は、宮城県気仙沼市の離島・大島の生活復旧に向けて、物流と交通事情を大幅に改善するカーフェリーが明日就航することを発表しました。これは、Civic Force が東日本大震災において三陸地域の生活復旧に向けた取り組みの一環として行うもので、同団体はカーフェリーの仲介と、就航に必要な初期費用を負担することで実現したものです。

気仙沼市・大島は、気仙沼湾内に位置する東北最大級の有人離島です。面積は9平方キロメートル、人口は約3,300人、世帯数約1,100世帯が被災し、生活しています。大震災前は、フェリーを運航する大島汽船株式会社によって、定員300名の旅客船2隻が1日13便、定員250名のカーフェリーが2隻1日12便就航し、人とモノを運んでいました。しかし、大震災による津波の影響を受け、大島汽船が所有する全7隻が陸に乗り上げるか沈没しました。大震災後は、駐沖繩米海兵隊が揚陸艇で支援物資を送っていたほか、大震災の2日後から42人乗りの小型船を臨時で1日3便運航。3月30日からは、別の汽船会社から借りた89人乗りの旅客船1隻が1日8往復で再開し、被災者や物資の運搬が改善されました。併せて気仙沼市からは、4トントラック1台分の物資を運送できる小型貨物船を就航させており、Civic Forceでも、4月22日から大島への物資供給を始めていました。

しかしながら、現状の輸送量では人とモノの移動に限りがあります。島の生命線であ

る航路を回復することが急務とされる中、Civic Force が従来より関係のあった広島県に相談。江田島市が市営で運航し、昨年 10 月から休止し、今年4月に廃止が決まった航路に就航していた大型カーフェリー「ドリームのうみ」を、大島汽船が借り受け、運航することになりました。

今回江田島市より貸し出されるカーフェリーは、大震災前に大島汽船が所有していた中で最も大きい「フェリー亀山」(306 トン、定員250名)に匹敵する大きさです。トイレや客室はバリアフリーに適した装備を持ち、フラップ付舵、バウスラスト等を装備していることで、狭い港での横移動や小旋回ができる大島の利用者と地理条件に適合する船です。

「ドリームのうみ」の就航により、気仙沼と大島の間に、人の行き来だけではなく、生活物資の運送や、地域復興にむけた大型資材のほか、簡易シャワーや仮設トイレ、給水車など大型物資を供給することができます。島では、現在も電気は復旧したものの、断水復旧の見通しが立っていないなか、工事車両等も行き来できるようになることが期待されています。貸し出し期間は、6 ヶ月を予定しています。江田島市は、貸し出しに伴うチャーター料(リース料)を被災地支援のために無償とし、就航に係る初期費用(回航費用 500 万円～700 万円、検査料 500 万円、5 月末までの運航に係る燃料代 500 万円、援助物資車両無償輸送分の燃料費負担 120 万円)は Civic Force が負担し、就航を実現しています。この中には、生活復旧を加速させるため、5 月末までは積載車両に関する利用料金を割引きするほか、援助物資車両を台数限定で無料化するための費用が含まれます。

なお、就航を記念したセレモニーの予定はありません。

「ドリームのうみ」には、気仙沼の被災者に向けた広島からの応援メッセージが書かれた旗が掲げられています。

■運航計画

就航本数： 1 日 8 往復

◆気仙沼港エースポート発

7:20、8:40、10:00、11:20、13:30、14:50、16:30、18:30

◆大島浦の浜大島発

6:40、8:00、9:20、10:40、12:00、14:10、15:40、17:30

利用料金： 1 人 400 円(子ども 200 円)

軽自動車： 1 台 2,000 円(通常料金 4,020 円)

普通車： 1 台 3,000 円(通常料金 5,040 円)

援助物資車両は、1日あたり2トン車4台まで無料輸送
(無料輸送のためには気仙沼災害対策本部の事前承認が必要)

※上記の車両料金の割引期間は5月31日まで

就航場所: 気仙沼エースポート、大島浦の浜

■「ドリームのうみ」の概要

バリアフリー対応トイレ、バリアフリー客室等バリアフリー基準に適合した装備を充実。
フラップ付舵、バウスラスト等を装備し、狭い港での横移動、小旋回を実現。

船主: 広島県江田島市 竣工: 平成17年1月31日

全長: 59.375 m 幅: 11.000 m

総トン数: 397 トン 航海速力: 14.5 ノット(85%出力)

最大搭載人員: 旅客300名、乗組員3名

搭載車両: 普通乗用車20台

※「ドリームのうみ」の写真は、提供可能です。お問合せください。

◆Civic Force について

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行うための NPO/NGO・企業・政府・行政の連携組織です。災害時支援に必要な【情報】【人】【資金】【モノ】が組織内で共有・活用されることで円滑で効果的な支援を可能にします。

東北関東大震災に関しては、地震発生翌日から現地入りし、①大規模物流事業、②技術者派遣事業を展開中です。物流事業では、現在10台の4トントラックを毎日定期運行し、現地のニーズが高い物資を200トン以上(累計)被災地に届けています。また、実効的な支援のための技術者派遣事業では、第一弾として大工を派遣し、仮設風呂を建設中です。この活動に対しては、4月25日現在、約4.4万の個人・法人の方々から約7.8億円のご寄付をいただいています。※活動内容は、団体ホームページで毎日更新しています。

<http://civic-force.org/>

◆報道関係者からの問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当: 勝谷・菊池

TEL: 03-6804-6063、FAX: 03-6894-7562、Email: pr@civic-force.org